

# インド政府に認定された 五人の伝統工芸士

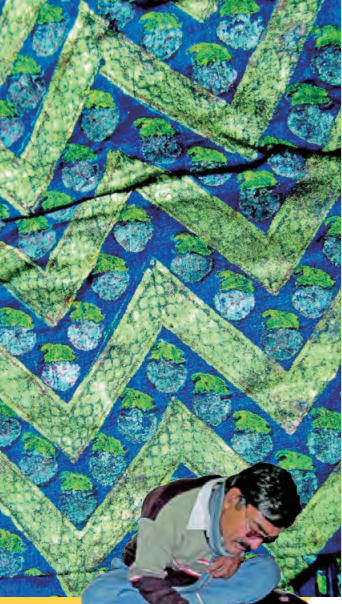
## 木彫り工芸

フィローズ・カーン



工芸品発展への貢献を称え、  
インド政府より授与される  
ナショナルアワードを受賞した  
熟練職人による実演。

## 箔押し



ディネツシュ・  
クマール・ソニ

## 彫刻画



ビジャヤラクシュミ・  
スワイン



マムタ・デヴィ

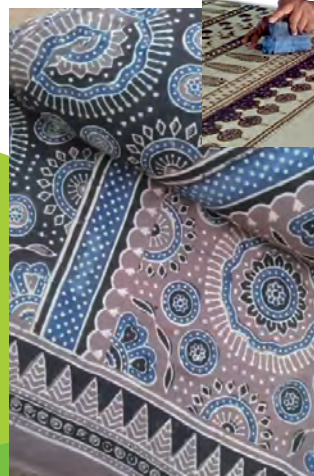
## ミティラー画



ラザク・カトリ



## 木版染め



## 実演スケジュール (10/7~10/17)

◎10/7(土)・8(日)・9(祝・月)  
神戸メリケンパーク：第12回インディアメーラー(ブース出展)

◎10/11(水)  
滋賀・竜王町：三井アウトレットパーク滋賀竜王

◎10/12(木)  
滋賀・彦根市：平和堂アル・プラザ彦根 4階

◎10/13(金)・14(土)  
和歌山市：和歌山県立近代美術館

◎10/15(日)  
大阪・堺市：堺まつり(ブース出展/MINAさかいゾーン)

◎10/17(火)  
兵庫・淡路市：淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館  
(※入場料が必要)

各訪問地は変更になる場合があります。淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館は入館料が必要です。  
最新情報はインド総領事館のX(旧Twitter)アカウント @IndianConsOsaka をご確認ください。



Consulate General of India  
Osaka-Kobe

主催：在大阪・神戸インド総領事館



DEVELOPMENT COMMISSIONER (HANDICRAFTS)  
Ministry of Textiles, Government of India

## 木版染め

(アジュラック)

ラザク・カトリ

2002年ナシヨナルアワード認定



Razak Khatri

「アジュラック」とはアラビア語で“青”を意味します。アジュラックは、主にインド北西部グジャラート州のアジュラックプールやラジャスタン州のバルメルで生産されています。木版を用いて防染染めと媒染染めを行い、赤、青、黒、白の4色で文様を表す更紗で、長方形の布の四周にボーダー（帯状の文様）が置かれ、それによって区画された中央部に幾何学文様や様式化された植物文様が施されているのが特徴です。天然染料と鉱物媒染で製作されるアジュラックは、寒い日には温かく、暑い日には涼しい布とされています。

工程

染色は16~20もの工程により行われます。布洗い、媒染剤の型押し、防染剤の型置き、藍染め、アリザリン煮染めと分業で行われ、何人かの職人による工程を何巡かしながら、すべて手作業で仕上げられます。一枚の布が完成するまでに2週間以上もの時間を要することもあります。



## 木彫り工芸

(ジャリ)

フィローズ・カーン

2004年ナシヨナルアワード認定



Firoz Khan

デリー出身。インド国内にとどまらず、これまでオマーン、ラトビア、チェコ、ブラジル他、海外の数々の展示会に出品。「ジャリ」とは彫刻や建築などで使用される幾何学的な格子模様や透かし彫りのことです。特にインドや中東の建築でよく見られ、モスク、寺院、宮殿、庭園、窓、階段、バルコニー、ディスプレイケース、家具など、さまざまな建築要素に使用されます。

工程

複雑な彫刻を施したジャリ工芸の製作には、白檀、紫檀、エボナイトなど特別な種類の木材・素材が選定されます。まず木材を必要なサイズに切断。精密な工具で表面を滑らかにし、デザインを彫刻します。最後に全体を磨いて光沢を出します。高い集中力、技術、そして豊かな想像力が必要とされます。



## ミティラー画

(マドゥバニ画)

マムタ・デヴィ

2016年ナシヨナルアワード認定



Mamta Devi

ミティラー画（又はマドゥバニ画）の産地として有名なビハール州 ジトワプール出身。伝統を保ちつつも現代的なスタイルを取り入れた作品で人々を魅了。ミティラー画とは、ビハール州ミティラー地方に伝わる絵画で、この地域の女性たちによって約三千年にわたって傳承されてきました。図柄には、日常生活や太陽や月などの自然神、ヒンドゥー教の神々や神話の登場人物などが描かれます。

工程

天然の染料と顔料を使用し、指、小枝、ブラシ、ペン先、マツチ棒が使用され、幾何学的な模様が特徴です。もともとは家の壁や床に描かれていましたが、現在は、地域の女性の自立のために布や手すき紙、カンバスに描かれるようになりました。ピカソにも影響を与えたといわれています。



## 彫刻画

(タラパトラチトラ)

ビジャヤラクシュミ・スワイン

2019年ナシヨナルアワード認定



Bijayalaxmi Swain

「タラパトラチトラ」とはサンスクリット語でヤシの葉の絵画を意味し、乾燥したヤシの葉の細片に鉄筆で単色でエッチングを施したものです。タラパトラチトラの歴史は古く、意思伝達に文書が使われるようになった頃、当初は文字のみがヤシの葉に描かれていましたが、後に絵が裝飾されるようになり、芸術作品となりました。その独特な手法は、インドの他の画風とは一線を画しています。特にオリッサ州で盛んに製作され、同州の伝統工芸の一つとなっています。

工程

一定期間乾燥させたヤシの葉を必要な枚数を縫い合わせたり、紐で結びます。葉の上に鉄筆を使ってエッチングを施します。その後、ターメリックや、ヤシ殻炭、野菜、鉱物など天然素材でできた塗料で表面を塗装します。彫刻によく描かれるのは、古代インド叙事詩「ラーマヤナ」や「マハーバーラタ」をテーマにしたものや、ヒンドゥー教の神々です。



## 箔押し

(ワラックプリント)

ディネッシュ・クマール・ソニ

2019年ナシヨナルアワード認定



Dinesh Kumar Soni

ワラックプリントとは、版木を用いた転写技法により、金箔や銀箔を布地などに貼り付ける加工です。ラジャスタン州ジャイプールが有名な産地の1つです。ワラックプリントは多くの用途があり、布製品だけでなく、アーユルヴェーダやインドのお菓子の裝飾などにも使用されます。

工程

インドの箔工程では箔打紙ではなく、羊の皮でできた「箔打革」を使用することが特徴です。革の袋に入った金片や銀片を滑らかな石の上に置き、厚さが一定になるよう常に回転移動させながら木槌で叩きます。銀箔の場合は、2~4時間、金箔の場合は12時間叩く必要があります。

